

# ひがしの

## プロに学んで表現力を高める

校長 岩井 裕美

10月1日 東野小・東野こども園運動会～頑張る自分発表会～には、暑い日にも関わらず、多くの来賓のみなさま、ご家族のみなさまに応援にかけつけていただき、ありがとうございました。子供たちの頑張る姿をたくさん見ていただけたことに加えて、放送をかけずともみなさんの心遣いで、大切な閉会式を何の雑音もない中で行うことができました。会場に素晴らしい一体感を感じられ、頑張る自分発表会の成功の余韻を当日集ったみなさんで味わうことができたことを本当にうれしく思いました。学校が大事にしてきたことをみなさんも大事にしてくださっている、このことが大変心強く、背中を押していただいていると思います。ありがとうございます。来年度こそ、制限なく子供たちに関わる人みんなで、子供たちのがんばりを見届けられることを願います。

子供たちは翌週、後期のスタートダッシュをいい形で切ることができました。新しい係で、運動会までに付けた力を本物の力に高めながら、ますます「一人でもたくましく生きられる力」「みんなと力を合わせて生きられる力」を磨いています。

10・11月は、表現力アッププロジェクトと名うち、プロを講師にお招きして2つのプロジェクトを進めます。一つはプロのラジオパーソナリティーによる話し方教室、もう一つはダンス教室の先生と地域講師の先生方と共に東野音頭を取り入れて行う踊育です。このプロジェクトのねらいはコロナ禍で後回しになってきた表現力を高めていくこと、プロに出会うことで子供たちの世界を広げること、緊張する場を設定することで子供たちを鍛えること、地域に恩返しをすることです。勉強も、できることなら楽しくさせたいと思って計画をしています。話し方教室はすでに13日に開催され、口を動かして発声すること、言葉に気持ちをどう乗せるかなど、ゲームを交えて勉強しました。プロの技にすっかり魅せられた子供たちは、少しでも近づくよう繰り返し練習しておりました。話し方教室の翌日のお昼の放送ではその成果がさっそく発揮されたところです。踊育は11月スタートです。ヒップホップダンスに、東野音頭を取り入れ、5年生がオリジナルダンスを考えます。それを来年度下学年に教えて、東野夏祭りや文化祭で東野音頭と共に披露して地域のみなさんに元気をお配りすることで恩返しができるかと幸いです。この踊育を計画するにあたり、東野音頭について何人もの方からお力添えをいただいております。

